

二回目の会長研修会・交流会開催!

六月の第一回に続き、九月二十九日(木)午後六時半より亀田交流プラザを会場に、二十名の単P会長の皆さまにご参加いただきました。

今回も前半を研修の部とし、『市P連の今後の事業』について駒野会長より説明がありました。第一回の反省を踏まえ、パワーポイントを使用し、資料も充実させて、市P連の役割や各委員会活動を紹介しながら単P会長としてどう関わるかをお話しいただきました。まとめとして、P T Aはボランティア活動・保護者のリーダーと学校の理解者の兼任・他校との交流を大事に・委員会や研修会に参加しよう・市P連事務局に問い合わせを、「折角だから精一杯楽しもう!」と呼び掛け三十分の研修が終わりました。

十分間の休憩を挟み、二つのグループは講堂に残り、ほかの二つのグループはそれぞれ小会議室に移動し、交流の部『テーマに沿って情報交流』をグループごとに進めていただきました。

○組織・運営に関するテーマ (例) 創意工夫したP T A活動・役員の確保や引継ぎ

○学校支援・地域連携に関するテーマ (例) 学校を軸とした活動・地域との協働活動

○家庭教育に関するテーマ (例) 家庭における生活習慣や学習習慣

○その他 自由テーマ

交流後はアンケート記入と会場ごとの解散となりました。感想として「他の方の取り組みを聞いて大変参考になった。」「各校の代表者とコミュニケーションがとれ、自らの活動のモチベーションに繋がった。」「少人数で話せる分散会は、またやって欲しい。とても楽しかった。」「などの意見の他、「せめて過半数の参加があるような運営方法を工夫して欲しい。」といった意見もありましたので、次年度の参考になりたいと思います。



三年ぶりの青函P T A交流会

三十五回目を迎える交流会を十月二十二日・二十三日に函館市にて開催しました。青森市P T A連合会からは高坂修会長を始め七名の皆さんが来函し、初日は研修として「部活動の地域化(クラブ化)」について「ICT教育について」「P T A組織のあり方について」「P T A活動の見直しについて」を小グループで意見交流しました。その後の情報交換会では、開催できなかった令和二・三年度も含めた両市P連の事業報告を行いました。参加者はコロナ禍で活動できなかった苦労話や創意工夫した取り組みについての発表を聞いた後、それぞれで情報交換していただきます。

二日目はお昼過ぎにお帰りになる青森の皆さんを赤レンガ倉庫群にご案内し、短い時間でしたが散策やお買い物を楽しんでいただきました。今回、両市P連の組織のあり方や事業の持ち方の違いなども話題となり、今後も青函P T A交流会を通して情報交換しながらつながり続けていく必要があることを改めて確認しました。



青函P T A交流会

ブロック連絡会

第三ブロック連絡会報告

十月三十日(日)十三時より北斗市農業振興センターにて第三ブロック連絡会が開かれました。この会は、北海道P T A連合会・渡島P T A連合会・檜山P T A連合会・函館市P T A連合会が情報交流する場として、年一回開催しています。

今年度は「第三ブロック内の各地区P連による「コロナ禍でのP T A事業の取り組み」の発表を受け、今後の課題について小グループで情報交流し、学びあう場とする。北海道P T A連合会との連携により、今は困難な状況にあっても子どもたちの健やかな成長のため、学びと実

践につながる活動に取り組み意識を高める。」ことを趣旨とし、道P連による「道P連について」「委員会の取り組み」の説明のあと、「今後のP T A活動のあり方」について小グループで意見交流を行いました。

函館市長と「タウンミーティング」

十月二十五日(火)午前十一時より函館市役所六階の市長会議室において、函館市長との懇談が行われました。市P連から駒野会長、神田副会長、永井副会長、中村事務局長の計四名が参加しました。

まずは会長が自己紹介を兼ねて挨拶し、続いて副会長と事務局局長が市P連役員としての役割や活動などを交え各自自己紹介しました。初参加のタウンミーティングだったことや、工藤市長のほか学校教育部長や生涯学習部長など数名が同席していたこともあり、参加者は皆緊張していましたが、持参した総会要項や会報を使用しながら市P連の事業について、親の学びやつながりを持つための事業を推進する団体であることも説明しました。またその際、函館市からの補助金は「児童生徒が安心して安全に学校生活を送れるよう活動する単位P T Aを支えること」のために必要不可欠であり、今後も減額することなく継続してほしいことも伝えました。また、コロナ禍で保護者同士のつながりや薄くなっている現状や子ども達が過ごす環境や施設の整備について、そして数日前に開催された青函P T A交流会の研修で取り上げた部活動の地域化やICT教育についても話題提供しました。



タウンミーティング

選考されます。また、各ブロック事務局校には、団体表彰が贈呈されます。市P連では、会員の皆さまに様々な情報を提供するためホームページを開設しています。今後も様々なお知らせをしていきますので、ぜひ一度ご覧ください。

●各種委員会活動について 各ブロックから選出された十一名の子育て委員の皆さまが企画・運営する子育て研修会を、十一月十一日(金)に実施しました。その様子は最終号でご紹介したいと思えます。

●今年度の新年交際会については、厚生委員会担当の四ブロックの赤川中学校が中心となり、コロナの状況を見極め役員会議で検討した結果、中止することとなりましたので、お知らせします。

●広報委員会が担当する会報は、二ブロックの弥生小学校が事務局となり、ブロック内で連携しながら記事内容を精査し、読んでいただける広報をめざし取り組んでいます。

●調査委員会は三ブロックの東山小学校を事務局として、教育予算や改善要望についてまとめるなど、皆さんの要望を形にする重要な役割を担っています。今年度も十二月上旬に皆さんの声を集約した要望書を持参し、市教委へ出向く予定です。

編集後記

◆令和四年度の函館市P T A連合会研究大会は、市内における新型コロナウイルスの感染拡大により、書面での開催となりました。今回の令和四年度第二号P T Aはこだて(第一三五号)では、書面開催の準備や運営等についてのアンケート結果を中心に、研究大会特集としてお送りしました。紙面の執筆や編集等について、多くの方々のご支援・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

また、ご多用のところ、この令和四年度第二号P T Aはこだて(第一三五号)の原稿を執筆いただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。(広報委員会事務局)

事務局だより

●表彰について 市P連では、年間通して顕著な活動に取り組んだ個人に表彰状や感謝状を贈呈しています。受賞者は、市P連の役員経験があること、その他、会議や研修会等への参加状況や活動の様子を見ながら、表彰委員会により

